

松原整体塾4期生



橋本真弓（千葉県流山市）MKS 整体院 院長

私にとって整体とは、生きる力を与えてくれるもの。

私にとって開節法とは、生きる喜び・幸せを教えてくれるもの。

2年半前の私はというと、押したり揉んだりする整体の仕事で身体を酷使していた。呼吸することすらできず、「このまま死んでしまうのかなあ」と思うくらい、心身ともに疲れ果ててボロボロになっていた。そんな時、幸運にも松原先生の治療を受ける機会に恵まれた。

まず背中のおイルマッサージをして頂いた途端、呼吸が楽にできるようになった。そして開節法の手技が終わる頃には、あれほど痛かったはずの腕、肩、頸、背中、そして腎臓の痛みがほとんどなくなっていた。とにかく身体が軽かった。

先生は整体が終わると、「整体師の本当の仕事は、教えることだよ。手技だけで人を助けようとするから、自分も苦しくなり、人も助けられない。例えば山の下にいる人にロープを垂らしてみんなを引き上げようとする、そのロープにすぎる人が段々増えていって、ついには自分が疲れ果ててしまって、いずれ自分も谷に落ちてしまうでしょう。でも、どこに手を置いて、どこに足を掛けて登ればいいのか、“登り方”を教えてあげれば多くの人を助けられるよ」と優しく話してくださった。私は心身ともに救われ喜びで一杯だった。そして何より先生の治療の凄さに感動した。先生のような治療家になりたい！と思った。

それから毎月一回、先生の治療に通い、そのたびに開節法の凄さを実感した。“松原整体塾で勉強したい”という思いがどんどん募っていった。そして念願の松原整体塾に入塾することができた。

毎月一回の塾は、予想以上に充実していて、とにかく楽しかった。治療の実践ですぐに役立つ知識、骨格を矯正するための「骨に力を伝える技術」など、今まで誰も教えてくれなかったことを、誰よりも分かりやすく指導してくださった。問診や触診をして原因を判断するには、多くの知識が必要だ。そして患者さんの信頼を得るには、アッと驚かれるほど激変させてしまう手技と、具体的で的確なアドバイスが必要だ。この2年間の松原先生の教えには、それらがすべて凝縮されている。後は、自分がそれらをどう活かせるか。本当に効く施術をしたい。患者さんに“アッと驚かれるほど劇的な効果”を出し、驚きと感動を与えたい。そして少しでも多くの人の役に立てることがしたい。

「押したり揉んだりしている手技常識を変えたい！」という松原先生の『手技の革命』のお手伝いをしたい。これらの夢に向って松原先生のような治療家になりたい。そのために、日々今の自分にできることを、松原整体塾で学んだことを全力でやりきることを積み重ねていこうと思う。

幸い私は、松原先生が設立したMKS整体院で働いているので、“開節法の凄さ”を日々実感している。例えば、足の趾や手の指を回すだけで、全身が身体の芯から弛んで、どこに行っても良くならなかつた痛みがパッと取れてしまうなんて、誰も発想すらしないでしょう。先日「くの字操法」をしているとき、ロックしている親指で胃が上がっていくのを感じて感激！瞬時に身体が変わる凄い技！こんな技を考えるなんて、先生凄すぎ！

洲脇 功治（岡山県岡山市）銀座まるかん特約店 ついてる kouji 店長

昔、競輪選手だった頃に腰を痛めて、治療院は100箇所以上行きましたが、良くなりませんでした。選手を辞めてからも良ならず、ついには15分歩いたら一休みしなければならぬほど、腰痛がひどくなってしまいました。

そんな中で松原先生を知り、さっそく「バックシェイプDX」を購入して毎日使用したところ、25年も治らなかつた腰痛と肩コリがわずか2週間ほどで劇的に良くなり、それがきっかけで整体塾に入学しました。

選手時代には「腰痛にいい」と思ってストレッチをしていましたが、よくギックリ腰になっていました。その当時は身体が硬いからギックリ腰になるのだと思ってさらに熱心に行って、ギックリ腰を繰り返していました。

整体塾に入って、「腰痛体操や腹筋運動やストレッチ自体が、腰痛を悪化させる！」と知って愕然としました。また肩コリにいいと言われているストレッチも、逆に悪化させるものでした。なんでこんな間違いが“正しい”と常識になっているのか？自分の身体で経験して分かったので、声を大にして訴えていこうと思っています。

毎月の課題書は、「なぜこんなウソが常識となっているのか？」と目からウロコの情報が山ほどありました。本業は、斉藤一人さんの健康食品を扱っている銀座まるかんの特約店

なので、お客様にも正しい情報を提供することができ、とても役立ちました。

合気を使った力の伝え方は、なかなか習得できませんでした。競輪選手だったので筋力に自信がありましたが、かえってそれが邪魔をして、どうしても力が抜けず、これからの課題だと思います。

松原整体塾、本当に正しい知識を学べる場であり、また実践の場であったので、とても充実した 2 年間でした。松原塾長に、惜しみなく最新の知識、そして合気の奥義を教えてくださいいただき感謝しています。ありがとうございました。

三崎 俊広（広島県呉市）公務員

松原整体塾に入って 2 年間、とても貴重な勉強をさせていただき、毎月の授業は毎回、驚きと目からウロコの連続でした。

関節法に必要な「合気の技術」を習得するために、木刀をいつも持ち歩いて、暇さえあれば振っていました。さらに、歩き方、座り方、立ち振る舞いなど、日常生活のありとあらゆることから「合気の世界」に変えていくよう努めました。その甲斐あって「合気の世界」が理解でき、手技だけでなく、私の専門である中国武術のレベルアップにもつながりました。

病気になるには必ず原因がありますから、治すためには原因を改善するしかありません。しかし、真の原因を見つけることは容易ではありません。なぜなら、原因の多くは毎日の仕事、生活習慣の中にあるからで、見つけ出すには、生理学、解剖学、病理学はもちろん、オイルや東洋医学の知識、身体力学、潜在意識、環境問題、住環境、食生活や食品の裏事情など幅広い知識・経験が必要だからです。そのために毎月、松原先生が厳選した課題書を読み、レポートにまとめたことで、活きた知識がたくさん身に付きました。

こうして整体塾で学んだ活きた技術と知識は、私の一生の宝になりました。整体塾での学びと経験を活かして、これからさらに向上していきたいと思います。

松原先生、そして共に頑張った同期の方々、ありがとうございました。

小寺 康補（兵庫県神戸市）歯科医

書店で偶然手に取った「関節法フットケア」という本で、松原先生のことを知りました。

私は歯科医師なので、わずか 10 分間の施術で“唾液量増加・唾液 pH 上昇・開口増大・首の回旋改善・膝窩体温上昇・血圧下降・脈拍減少・前屈度 UP”と書いてあるのが目に留まりました。兼ねてから「重症の歯周病はブラッシングや歯石除去だけでは治りにくい。全身の改善が必要だ」と思っていたからです。

これが事実であれば「一度体験しなければ」と思い、松原先生の施術を受けました。どのような治療なのか、しかと見届けようと思っていましたが、事もあろうに眠ってしまいました。後で先生に伺うと、「ほとんどの人が 5 分か 10 分で眠ってしまう」とのことでした。

開節法の「患部を揉まずに筋肉をゆるめる手法」を知りたくて、「開節法フットケア・セミナー」を受講しました。思っていたよりも大変な一日でしたが、手技の技術もさることながら、その裏付けとなる理路整然とした講義に、驚くとともに興味が湧いてきました。もっと勉強したくなって、松原整体塾に入塾しました。

課題書は、本来ならば一生読む機会がなかったような本を、大量に読むことができ、とても良かったと思います。そして毎月の講義のおかげで、「常に病因を考えて、それを改善するアドバイス」ができるようになりました。

実技の方は、未だに腕力が抜けず、もっと練習しなければと反省しています。

私自身の身体の変化ですが、かつては職業柄ずっと肩コリに悩まされていて、多い時は週に3回、それもガンガン強揉みを受けていました。入塾してからは、マッサージに行かなくても良くなりました。これは本当に奇跡的です。2年間本当にありがとうございました。

五十嵐 洋子（千葉県香取郡）

基本訓練をしなかったのが、結局何一つできるようにはなりませんでした。せっかく教えていただいたのに、もったいないなと思っています。

一番大変だったのは「力の抜き方」でした。この「力の抜き方」は、オイルマッサージから開節法の手技すべてに必要とされるのに、想像を絶するほど難しかったです。

松原先生がいつも簡単そうに、優しいタッチで患者さんの身体をほぐし、調整されていることが、どんなに難しいことで、相手の身体を思いやる技であるかをよく分かりました。学ぶほど、先生の凄さを感じた2年間でした。

毎月の課題書のレポート提出は、有意義な勉強となり、知識を拡大できました。読みやすいものから専門書まで、有意義な内容を選んでいただき、大きな財産となりました。心から感謝しています。